

平成28年8月末に襲来した台風によって甚大な被害に見舞われた新得町の各小中学校の児童を励ますために、友好都市である山形県東根市の東根小学校5年生からお米150キログラム（県産米はえぬき）と応援メッセージが届き、2月10日、町内の小学生1人ひとりに応援メッセージ付きのお米3合と手作りのパンフレットが配られました。

配られたお米は、東根の児童が田植えから稲刈りまで手作業で行ったもので、東根小学校の校庭にあり、市の特別天然記念物である大けやきのパワを新得町に送りたいという思いを込めて元気100倍大けやきと名付けられました。手作りのパンフレットには、東根の児童が学んだ米の豆知識や大けやきの紹介などが書かれています。

お米を受け取った新得小学校2年の矢島呉征くんは「とても嬉しかった。炊いてきたてを食べたい。お米をくれてありがとと伝えたい」と話し、また、同小学校4年の北野翔太くんは「遠い山形からこんなに良いお米をもらって嬉しい。大事に食べたい」と話していました。各小中学校ではこのお礼として、

東根小学校から町内小中学校にお米と応援メッセージ
児童それぞれの思いを込めた寄せ書きやビデオレターの製作などを行っています。

東根小学校にみんなのお礼の気持ちが届くというですね。

上組小学校からお見舞いの手紙と写真が届く

町の姉妹都市である五ヶ瀬町の上組小学校から2月16日、町内の各小中学校にお見舞いの手紙とメッセージ付きの写真が届きました。

五ヶ瀬町と新得町は2年に1度、お互いの町を訪問する交流活動を行っています。昨年の7月31日～8月4日まで、上組小には、新得小から2人、屈足南小から1人が訪問。8月21日～23日には上組小の児童2人が新得小を、1人が屈足



お米と応援メッセージを受け取り、喜び新得小2年生

五ヶ瀬中学校からの災害支援金を活用し、給食を再現

町内の各小中学校、新得高等支

手紙と写真を受け取り、頑張るぞ！と意気込みを語る屈足南小学校児童会のメンバー



「特ホルカレー」を頑張る新得中学校の生徒

援学校で3月3日、姉妹町の宮崎県五ヶ瀬町の「当地給食「特ホルカレー」が提供されました。特ホルは宮崎県北部で特製ホルモンと呼ばれる豚肉のハラムのことです。町内の宮部精肉店の特製のタレに漬けたものが使われています。

昨年10月に寄付された五ヶ瀬中学校からの災害支援金を活用し、レシピも材料もデザートもキンカンも五ヶ瀬町で使っているものを取り寄せています。五ヶ瀬中学校では、校内など5ヶ所に募金箱を設置し、体育大会では、募金箱を手に参加者などに呼びかけを行いました。

給食が提供された新得中学校の石割章校長は「宮崎県という遠い地域との繋がりを感ずる」と話し、新得中学校の生徒は「肉がいつもと違う。カレーもデザートもすごくおいしい」と姉妹町の「当地給食」を美味しそうに頬張っていました。

終活セミナー ～自分らしく生きるために～

2月13日、新得町ケアマネジャー連絡会主催の「終活」をテーマにした講演会が開催されました。NPO法人「葬送を考える市民の会」代表理事の澤知里さんから、「葬儀をめぐる最近の事情」として、エンディングノートや遺骨の管理等について、ご自身の経験や事例を紹介しながらお話していただきました。



「終活」は「最期」に備えて準備することと思われがちですが、人生を振り返り、これからをより良く生きていこうと考えるきっかけになるものです。ただ、「最期」を意識することで落ち込んだりする方もいます。無理せず、お子さんやお孫さんにも相談してください。

エンディングノートとは

- 自分のことを自分でできなくなった時に、自分の希望（意思）を伝えるもの。

書くときのポイント

- 見られると困る財産のことは書かない。（銀行の口座番号やクレジットカードの番号など）特に相続財産などについては遺言書に書く。
- 「家族にまかせる」ことが良いともかぎりません。家族間の意見が対立して関係が悪化することもあります。
- 決して押し付けにならないように書くことも大切です。家族のいる方は家族の思いも大切に。
- 何度も書き直すという前提で書く。状況も気持ちも変わります。

書いたあとは

- 机やタンスの引き出しには入れない。いざという時に見つけれられるよう目立つ所に置く。
- 周囲の人に書いてあることを知らせ、できれば気軽に見せて話ができるといいです。

参加者の感想

- 樹木葬、遺骨の管理等とても興味深く聴くことができました。
- 終活は自分の人生を考えることなんだと感じました。話を聞きながら自分らしい終わり方はどんなだろうと考えていきました。
- 決められた方法を子どもに伝えておかなければと思ってましたが、色々な方法があることを聞いて、エンディングノートを書いておかなければと思いました。
- 今まで色々誰に相談をしていいか、どこに行けばいいかわからず、心配でしたがこの講座に来て良かったと思います。

今後、より詳しく知りたい「終活」のキーワードをアンケートで答えていただきました。多い順番にあげています。

①延命治療 ②エンディングノート ③遺産相続 ④遺言 ⑤遺品整理 ⑥終の棲家

約90名の方にご参加いただき、ありがとうございました。



●発行元●

新得町地域包括
支援センター
保健福祉課在宅支援係
TEL 64-0533
Fax 64-0534

書くことによって
今までの生き方を
振り返り、これから
先、自分はどう
生きるか、
これからの人生で
何が大切かを考える
きっかけにも
なります。

